

栃木県立真岡北陵高等学校

ペンタゴンプロジェクト

遊休農地を活用して～綿花栽培を通じた地域貢献～

遊休農地の有効活用策として土地の復元から綿の栽培と、収穫された綿で高齢者の心が浮き立つようなバック等の製造・販売に取組み、障がいのある方に対し就労の機会や社会参加の機会の提供を行い、地域の活性化に繋がりたいと活動している。



栃木県立栃木農業高等学校

農業環境部 環境活動班

新しい時代の道普請 ～パートナーシップによる地域環境保全～

豪雨災害で発生した土砂廃棄物を再利用し、放置ため池改修や林道整備に応用している。協働活動「栃普請」を組織化。市民参加型の「道普請ウォークin太平山」を実施。市民意識調査や行政機関へのヒアリングもとりまとめている。



群馬県立利根実業高等学校

生物資源研究部

ニホンジカの赤城山北西麓における生態・行動研究と玉原湿原におけるミズバショウ群生地の保護活動

目的はシカによる農林業被害の抑制。①シカの季節毎の行動サイクルの究明、②「ぬた場」での繁殖行動の究明、③広域拡散化の要因究明、④圃場への侵入防護抑制、⑤生息数調整、⑥ミズバショウ群生地の防獣ネット設置、⑦出前授業など。



群馬県立伊勢崎興陽高等学校

バイオテクノロジー研究部

放置竹林の可能性を探る

竹の新たな利用法を探りキノコ栽培資材に転用した。青竹が元々持ち合わせている抗菌性を利用し、従来のおがくずを竹チップに、ポリプロピレン製容器を竹筒に替えてヒラタケ栽培を行った。結果、慣行法と差がない生育、収量が確認できた。



千葉県立松戸南高等学校

Team Quad-E (Ecological Environmental Engineering Education)

地域の生態系保全のための技術の研究～みんなで楽しくビオトープづくり～

ビオトープづくりの技術に挑戦し、生態系保全活動を応援したい。活動は①「水草ケージの作成と運用～動物たちから沈水植物を守り育てる～」、②「冬期灌水水田作成のための水撃ポンプの製作及び設置～よみがえれ、冬水田んぼ～」など。



千葉県立鎌ヶ谷西高等学校

Team KAMAGAYA

繋げよう Team KAMAGAYA

ユネスコ委員会を設置し、UNIQLOの「服のチカラプロジェクト」活動に取り組む。また、書き損じはがき、歯ブラシ、ペットボトル、古紙回収、市民祭りでのワークショップ、ひまわりを育てる川美化活動、CO₂削減のキャンドルナイトなどを行った。



千葉県立津田沼高等学校

理科部生物班 鳥類担当

アオサは善か？悪か？

海藻の「アオサ」は谷津干潟にとって悪者と思っていたが、全く無くなって困るのではないかと考え、ヒドリガモ、オナガガモ、オオバンなどのデータを分析した。アオサの繁茂が、ある種にとっては必ずしも悪影響ではないということが分かった。



埼玉県立熊谷高等学校

生物部

過去3年間の熊谷市成田用水における水生動物の調査

毎月、魚類などの水生生物を採集し気温などの環境データも収集する。特定外来種コクチバスは、その場で処理解剖を行い食性等も調べた。データの集積の結果、生物多様性の季節的な変動と原因を考察した。研究発表や清掃活動も行った。



神田女学園高等学校①

海洋プラスチックTシャツ

海洋プラスチックについて

洋服の「大量在庫・大量廃棄」の問題と海洋プラスチックという世界的な環境問題がテーマ。フィールドワークで情報収集を行った。今後は「海洋プラスチックTシャツ」プロジェクトを学校全体で行う。リサイクル活動にも参加していく。



神田女学園高等学校②

海を大切に

海の底には～野生生物に迫る危険～

プラスチックが及ぼす海への影響を軽減していく。夏休みにフィールドワークの情報収集を行い、文化祭でポスターセッションを行った。今後、魚やイカなどの胃の解剖を行い、内容物にプラスチックがどれだけ入っているか調べようと思う。



神田女学園高等学校③

Chalk' girls

すぐに短くなってしまいうちのチョークはまだ役目は、終わってない!!

ダストレスチョーク作成の実験を行い情報収集をする。結果を文化祭で発表した。黒板にダストレスチョークを置き、来場者へ書き心地を試してもらった。今後は、ダストレスチョークがどれほど害虫予防に適しているのか実験をしたと思う。



正則学園高等学校

SG-SDGs研究チーム

SDGsからの学び高校生企業連携プログラム(琵琶湖を通じてSDGsを学ぼう)

琵琶湖の社会課題をどのように解決していくかに取り組む企業プログラムに参加。研修成果を国連大学で実施された『共に創ろうSDGsプロジェクト～SDGs Youth Summer Camp 2019』や学園祭で発表。今後、琵琶湖葦狩りへ参加しより理解を深め、情報発信していく。

